

循環器・呼吸器外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 本邦における肺切除術後脳梗塞に関する周術期、手術因子の解析：多施設共同研究

[研究機関] 北海道大学病院循環器・呼吸器外科

[研究責任者] 加賀 基知三（循環器・呼吸器外科 診療教授）

[研究の目的]

これまでに肺を切除する手術の後に脳梗塞を起こす患者さんが約3%程度いることが報告されています。当院の研究で左肺上葉切除後に肺静脈断端内に血栓ができて脳梗塞の原因になる可能性があることがわかりました。本研究は日本呼吸器外科学会後援の多施設共同試験で、左肺静脈断端内の血栓ができる原因を究明して脳梗塞予防の方法を検討することが目的です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

肺悪性腫瘍の患者さんのうち、平成16年1月1日から平成25年12月31日の間に肺切除術を受けた方

●利用するカルテ情報

- ①患者背景：年齢、性別、身長、体重、パフォーマンスステータス（患者さんの全身状態をあらわす指標）、喫煙の有無、飲酒の有無、術前化学療法、術前放射線療法、血液ガス、呼吸機能、頸部エコー、併存疾患、術前病期、腫瘍部位、術前抗凝固、抗血小板投与の有無
- ②手術に関する情報：術式、手術部位、胸腔鏡の有無、リンパ節郭清の有無、血管処理の方法、手術時間、出血、術中合併症
- ③術後に関する情報：術後脳梗塞の有無、発症日、治療の有無、後遺症の有無、その他の術後合併症、抗凝固、抗血小板薬の再開の有無、ヘパリン再開の有無、病理診断（病理病期、組織型）、術後治療の有無、最終転帰

これらの情報は、個人情報データを削除したうえで研究全体の事務局が設置されている長崎大学大学院医歯薬総合研究科に提出されます。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院循環器・呼吸器外科 担当医師 加賀 基知三, 樋田 泰浩

電話 011-706-6041 FAX 011-706-7612